

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式 一問一答方式

質問件名 切望される南西部地域のコミュニティタクシーについて

【質問要旨】

小平市内で交通空白地帯を走るコミュニティタクシーは「地域ごとのニーズに基づくコンパクトな生活交通とこれをつなぐ幹線交通を充実する」目的で現在は大沼ルート、鈴木町ルート、栄町ルートの3路線が試行運行されています。市内を4つに分けた最後の地区として南西部地域でコミュニティタクシーを運行させようと「小平南西部地域コミュニティタクシーを考える会」が発足し話し合いを重ねた結果、鷹の台駅西側地域で実証実験運行が7月より始まっています。

小平市でも高齢化が進み高齢化率は年々上昇を続けています。それに伴い今まで自転車や徒歩で移動できていた方の外出や車の運転などが困難になるという問題は南西部地域でも顕著です。特に中島町、上水新町、鷹の台の高齢化率は4割を超えており公共交通を切望する声を多くの市民から聞いています。

すでに試行運行を行なっている3路線では乗客数も安定しているとのこと。東西に広がる小平市内をコミュニティバス、コミュニティタクシー、鉄道で繋ぎ子どもから高齢者まで外出しやすくする公共交通施策としての南西部地域は重要なものです。

南西部地域で市民の足となるようなコミュニティタクシーを試行運行につなげるために以下質問をいたします。

- ① 7月から実証実験運行を始め、現在に至るまでの乗車人数の推移は。
- ② 南西部地域特有の課題はありますか。
- ③ 鷹の台駅を挟んで東西を行き来するルートの可能性はありますか。その際、コミュニティバスと連結してはどうでしょうか。
- ④ 国分寺市のぶんバスなど近くを走る路線との連携は考えていますか。
- ⑤ 小川町1丁目立川通り沿いのスーパーマーケットをルートに組み込み買い物の足として使えないでしょうか。
- ⑥ 市民への周知方法として「実証実験運行中」の横断幕をコミュニティタクシーに取り付けられないか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

2018年 11月 15日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 山崎 とも子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)